

村内4商品が下北ジオパーク認定商品に決定！

認定番号 1

ジュラ紀湧水 特別純米酒「祈水」
ジュラ紀湧水 吟醸酒「祈水」



商品説明
「祈水」という名は、国の重要無形民俗文化財「能登」に由来しています。使用する水は、東通村にある1億5000万年前のジュラ紀の地層を通り抜けた湧水「ジュラ紀湧水」。酒米は、海成段丘に広がる田圃地帯で作付けされた、東通村産「脚の舞」を使用し、こだわり抜いたお酒は「この地しか造れない日本」。
旨みと旨み、旨みのバランスが良く、芳醇な香りと適んだ口当たりを感じるお酒です。

★東通村商工会
下北郡東通村砂子又沢内9-35

お問い合わせ先
0175-48-2081

当村を含む下北ジオパーク推進協議会（宮下宗一郎会長）では、今年度からの新たな取り組みとして「下北ジオパーク認定商品制度」を実施しています。

この取り組みは、下北ならではの地形や地質、歴史や文化に裏打ちされた食や特産品を認定し、認定商品のPRや販売を通じて、下北ジオパークの魅力発信と下北地域の経済活性化との相乗効果を期待するものです。

先般、第1回目となる商品の募集と認定審査が行われ、村内から応募のあった次の4商品が、みごとジオパーク認定商品に認定されました。

認定番号 3

ジオベこもち



商品説明
「ベこもち」は下北半島に伝わる郷土料理で、北前船によってもたらされた良質な砂糖を使い、伝統的な和菓子の製法を踏襲して作られた北前菓子の一つとされています。現在北前やあやめ、磨、松など様々な様子が考案され、下北全体に普及しています。
「ジオベこもち」は、東通村にあるジオサイトを模したもので、味だけでなく目でも楽しむことができる一品です。

★りらくすまな東通
下北郡東通村大字蒲野沢字上田沢1-1

お問い合わせ先
0175-27-2083

①東通村の「ジュラ紀湧水」と「駒の舞」から醸した日本酒「祈水（特別純米酒・吟醸酒）」（東通村商工会）

②郷土料理の「ベこもち」で村内のジオサイトや地層を模した「ジオベこもち」（りらくすまな東通）

③広大な砂地が広がり、寒流と暖流が交わる東通村沖で育った天然ヒラメを贅沢に使った「東通天然ヒラメ刺身重」（東通ヒラメ料理推進協議会）

東通村以外の商品では、「下北

認定番号 13

東通天然ヒラメ刺身重



商品説明
東通村の天然ヒラメは、尻屋崎周辺から太平洋沿岸にかけて漁獲されます。これは、熊ヶ森砂丘から続く広大な砂地の裾野が棲みよい生息地で、寒流と暖流が交わる尻屋崎を中心に、エサとなる小魚が集まるためです。
“海を生きる「まさかり」の大地”が育んだ天然ヒラメを中心に、蒲城屋と原野平野の上で冷涼な気候と向き合い育った農水産物を、地場産にこだわって活用した一品です。

★東通ヒラメ料理推進協議会
下北郡東通村大字砂子又沢内6-34（東通村第2庁舎2階内）

お問い合わせ先
0175-27-2111

ジオ昆布三昧」や「焼干しいわし」、「下北グルメジオ定食」などが認定され、計17商品が下北ジオパーク認定商品となりました。

今後は工芸品なども視野に入れ、専用のお土産コーナー開設やパンフレットでの紹介、ツアーでの活用など、協議会としても積極的にPRや販売促進に協力していくこととしています。

認定商品の募集は今後も定期的に行われ、広報誌でもお知らせします。認定商品に興味のある方は東通村経営企画課（☎27-2111）へお問い合わせください。

田植えもちつき踊り ～ 艶やかに祈る 豊穡と家内安全 ～



目名神社で披露された田植え餅つき踊り

1月15日(月)から16日(火)、村内各地で「田植えもちつき踊り」が行われました。

田植えもちつき踊りは、各地区の婦人会を中心に、古くは江戸時代から伝承されていると考えられているもので、小正月の伝統行事として披露されています。

当日は穏やかな天気の下、鮮やかな衣装を身に付けた女性たちが、各地区の家々を門付けして回りながら、1年間の家内安全や豊作を願って踊りを披露しました。

また今年も、踊りの様子を撮影しようと、県内外から村を訪れたアマチュアカメラマンやツアー客が、各地区を訪れていました。